大 010 000 100=2 国士大 000 000 000=0

打安点

満

山

野

山

石

道

(8)米

(4)福

(6) 菅

(3)巴

(5)中

(2)

(7)長谷川 DH高

(9)酒井良

○東 野

長

500

410

300

410

320

320

411

311

310 計 3192

回

9

打安責

3130

### 東野完封

#### 四戦

2016 年度春季リーグ戦 4月25日 第4週 1勝0敗

った。2回に2死三塁から酒井良 国士大との初戦で勝利を勝ち取

打3の完封勝ちで今季2勝目。 た。 先発の東野龍二(商3)は被安 の右越適時二塁打で得点を追加 すると、7回には中道大波(法1) 樹(法2)が右越適時打を放ち先制

督は とを当たり前にやる」と も「当たり前にできるこ のの、得点の好機をもの ではあまり変わらないも と厳しい口調で語った。 時打で先制。さらに7回、 強い決意で試合に臨んだ。 た。高橋亮介主将(法4) にすることができなかっ 敗で勝ち点を落とし、最 利したものの、 いことができていない」 い。やらなくてはいけな ト位に転落した。西村監 青学大とは安打の数 青学大戦は初戦こそ勝 「野球になっていな その後連

士大との初戦制す

玉

手投手がいい球を投げて らした。試合後中道は「相 打を放ち、追加点をもた 爆剤となれば」と期待さ 塁打を放つと、続く打者 れた新人は右越適時二塁 いたので負けじと打った。 は公式戦初スタメンの中 監督に「チームの起

国士大 000 000 202 02=6

満

300

100

200

412

計 3984

回 打安責

2652

1330

7

3

中 1 621

伊藤大 高橋由

野

高石大全(法4)が左越三

今季2勝目。「一人一人の 先発の東野は完封で

と力強く語った。

が状況にある。しかし西勝4敗、勝ち点0と厳し ができるように、勝ち負 村監督は「ベストな試合 果が、完封ということに 向きに語った。 うにやってほしい」と前 けではなく普段やろうと 嬉しげな表情を見せた。 なったので良かった」と 打者に集中して投げた結 していることが出せるよ チームはこれまで2

写真=常木寛哉 文=山本正太



# 巌

002 000 00=4 大 002 打安点

(8)米

8 諸

(6)菅

PH 東

### 回戦

2016 年度春季リーグ戦 4月26日 第4週 1勝1敗

## 失策

まらず同点に追いつかれ 試合を託すが、勢いは止

相手打線が上回る結果に。

た。 延長戦に突入するも

と、延長戦の末逆転負けを喫した。

握っただけに、 れると、後を任された伊 である打線がつながり長 る一敗だ。3回には課題 序盤、 試合の主導権を 悔やまれ

士大6一4駒大

【左】初スタメンの中道

うと、6回には敵失のチ らに2点を追加する。 塁打、巴山颯太郎(法2) 安打が重なり2点を奪わ しかし崩れたのは7回 7つの三振を奪う好投。 ら調子のよい投球を見せ、 (経2)の右越二塁打でさ ヤンスを逃さず菅野赳門 の右前安打で計2点を奪 谷川雄飛(法4)の左越三 先発の谷中は初回

陣が粘れず同点に追いつかれる り計4得点。しかし終盤、リリーフ 2回戦。序盤は先発の谷中文哉(商 る。3回と6回には打線がつなが 4)が三振の山を築く好投を見せ 勝ち点を何としても奪取したい (4)福 山 410 (7)長谷川 531 (3)巴 511 山 (5)中 道 400 PH青 地 100 000 5 岡 田 DH高 石 300 000 H 松 尾 RD島 田 000 H 川合祥 110 RD伊藤修 000 (9)酒井良 210 400 場面で高橋由弥(経3)に りたい駒大は無死一塁の られる。このまま逃げ切 (2) 長

塁打を放たれ1点差に迫

滕大海(経1)も9回に本

も口にした。9回の失点 ない駒大にとって大きな ない試合だった」と語る。 ミス。勝たなければなら は)何気ないところでの 高橋亮介主将も「(課題 も失策が絡むものであり、 甘い」という言葉を何度 た。明日勝てば勝ち点の は第3戦目に持ち込まれ した集中力が求められる 勝となる。一試合を通 第3週に引き続き勝負 西村亮監督は「詰めが

だろう。 文=寒川朋子